

2 0 2 2 年度決算

2 0 2 3 年度予算

学 校 法 人 日 通 学 園
流 通 経 済 大 学
流通経済大学附属柏高等学校
流通経済大学附属柏中学校

2022年度決算並びに2023年度予算について

本学園の2022年度決算は本年5月29日、2023年度予算は本年3月23日開催の理事会においてそれぞれ承認され、また同日の評議員会において同意を得ましたのでその概要について公表いたします。

私立学校振興助成法による補助金の交付を受ける学校法人は、学校法人会計基準(文部科学省令)に則って「事業活動収支計算書」、「資金収支計算書」及び「貸借対照表」を作成し、計算書類は公認会計士または監査法人による監査を受けて所轄庁に届け出るよう定められ、本学園も文部科学省に届け出ています。

学校法人会計は、企業会計が経済活動により利益を追求するため、収益と費用から損益計算し、資産、負債の財務状態をまとめ、利害関係者や社会に公表することを目的としているのに対し、学校法人は教育研究活動により社会に有為な人材を育成することを目的とし、その収入のほとんどが学生生徒等の納付金や、国や地方公共団体の補助金で構成される極めて公共性の高い法人であり、一般企業より一層の永続性や、長期にわたる収支の均衡が求められるため、学校法人会計に損益計算という概念はなく、収支の均衡状態と財政状況の健全性を明らかにすることで、学校法人の永続的発展に役立てることを目的としています。

ここでは、本学園の経営状況を示す「事業活動収支計算書」と、すべての資金取引を明らかにする「資金収支計算書」及び財政状況を示す「貸借対照表」について概要をご説明いたします。

1. 2022年度決算について

(1) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、経常的収支と臨時的収支に区分して、当該年度の収入、支出の内容及び均衡の状態を明らかにし、経営状況が健全であるかどうか判断するためのものです。

本学園の2022年度の収支は、事業活動収入8,059,333千円から事業活動支出8,311,696千円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額が△252,363千円となり、さらに基本金組入額3,686,875千円を差し引いた当年度収支差額は3,939,238千円の支出超過となりました。これは、中学校校舎建築工事に伴う修繕費や光熱費の値上がりによる経費が増加したこと、また基本金組入額(自己資金で取得した校地、校舎、教具、校具等の取得相当額や奨学基金、研究基金等の資産の額、恒常的に保持すべき資金相当額)が、大学の運動部寮取得、保健室トイレ改修工事、広瀬グラウンド改修工事、ラグビー場人工芝改修工事、高校の部室棟建設、トレーニングルーム建設、中学校校舎建設工事、中学・高校共有施設である図書・メディア棟建設工事を行ったため増加したことによるもので、決算状況としては健全に経営されております。

なお、2022年度実施した基本金組入れ対象事業の主なものは下記のとおりです。

大 学	高 校	法 人 (中学校)
・運動部寮(土地含む)取得 ・龍ヶ崎保健室トイレ改修 ・広瀬グラウンド改修 ・ラグビー場人工芝改修 ・図書の購入など	・図書・メディア棟建設 ・部室棟建設 ・トレーニングルーム建設 ・図書の購入など	・中学校校舎建設工事2/3 (図書・メディア棟含む) ・中学校2号館改修 (旧高校部室棟) ・図書の購入など

2022年度事業活動収支計算書

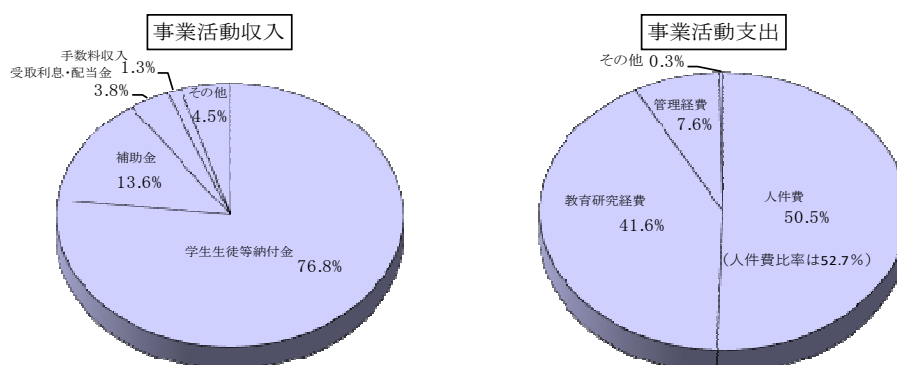
(金額単位：千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収入	事業活動の活動	学生生徒等納付金	6,226,165	6,188,339	37,826	
		手数料	149,445	107,892	41,553	
		寄付金	28,100	31,149	△ 3,049	
		経常費等補助金	999,081	1,096,640	△ 97,559	
		付随事業収入	181,865	99,607	82,258	
		雑収入	81,958	124,832	△ 42,874	
		教育活動収入計	7,666,614	7,648,459	18,155	
		人件費	4,038,522	4,194,949	△ 156,427	
		教育研究経費	3,246,772	3,458,875	△ 212,103	
		管理経費	586,074	634,202	△ 48,128	
支	事業活動の活動	徴収不能額等	0	0	0	
		教育活動支出計	7,871,368	8,288,026	△ 416,658	
		教育活動収支差額	△ 204,754	△ 639,567	434,813	
教育活動外収入	事業活動の活動	受取利息・配当金	243,767	304,098	△ 60,331	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	243,767	304,098	△ 60,331	
	支	事業活動の活動	借入金等利息	0	0	0
			その他の教育活動外支出	0	0	0
			教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	243,767	304,098	△ 60,331	
		経常収支差額	39,013	△ 335,469	374,482	
特別収入	事業活動の活動	資産売却差額	0	85,300	△ 85,300	
		その他の特別収入	11,400	21,476	△ 10,076	
		〔現物寄付〕	8,400	17,693	△ 9,293	
		〔施設設備補助金〕	3,000	3,783	△ 783	
			特別収入計	11,400	106,776	△ 95,376
	支	事業活動の活動	資産処分差額	551	23,670	△ 23,119
その他の特別支出			0	0	0	
特別支出計			551	23,670	△ 23,119	
		特別収支差額	10,849	83,106	△ 72,257	
		基本金組入前当年度収支差額	49,862	△ 252,363	302,225	
		基本金組入額合計	△ 4,220,501	△ 3,686,875	△ 533,626	
		当年度収支差額	△ 4,170,639	△ 3,939,238	△ 231,401	
		前年度繰越収支差額	636,767	636,767	0	
		翌年度繰越収支差額	△ 3,533,872	△ 3,302,471	△ 231,401	

(参考)

事業活動収入計	7,921,781	8,059,333	△ 137,552
事業活動支出計	7,871,919	8,311,696	△ 439,777

構成比率（2022決算）



(2)資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動(教育研究活動等)に対応する全ての収入及び支出の内容ならびに支払資金(現金及び預貯金)の収入及び支出のてん末を明らかにするためのものです。

本学園の2022年度の資金収支は、当年度の資金収入が10,060,117千円で、前年度繰越支払資金7,235,117千円を加えて資金収入の部合計が17,295,234千円となり、一方資金支出が13,390,181千円で、これを資金収入の部合計から差し引いた翌年度繰越支払資金は3,905,053千円となりました。

2022年度資金収支計算書

(金額単位：千円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
資 金 収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	6,226,165	6,188,339	37,826
	手数料収入	149,445	107,892	41,553
	寄付金収入	28,100	31,149	△ 3,049
	補助金収入	1,002,081	1,100,423	△ 98,342
	〔国庫補助金収入〕	617,607	676,340	△ 58,733
		〔地方公共団体補助金収入〕	384,474	424,083
	資産売却収入	3,400,000	2,000,200	1,399,800
	付随事業・収益事業収入	181,865	99,607	82,258
	受取利息・配当金収入	243,767	304,098	△ 60,331
	雑収入	81,958	114,867	△ 32,909
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	2,327,027	1,858,389	468,638
	その他の収入	367,576	381,265	△ 13,689
	資金収入調整勘定	△ 2,087,926	△ 2,126,112	38,186
前年度繰越支払資金	7,235,117	7,235,117	0	
合 計	19,155,175	17,295,234	1,859,941	
資 金 支 出 の 部	人件費支出	4,037,558	4,193,554	△ 155,996
	教育研究経費支出	2,160,177	2,368,354	△ 208,177
	管理経費支出	516,549	562,040	△ 45,491
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	3,758,971	3,417,821	341,150
	設備関係支出	688,756	671,236	17,520
	資産運用支出	3,400,000	2,200,000	1,200,000
	その他の支出	804,110	882,479	△ 78,369
	資金支出調整勘定	△ 787,560	△ 905,303	117,743
	翌年度繰越支払資金	4,576,614	3,905,053	671,561
合 計	19,155,175	17,295,234	1,859,941	

(3) 貸借対照表

貸借対照表は、一定の時点における資産、負債、純資産の財産状況を示しております。

本学園の2023年3月31日における財産状況は別表に示すとおり健全であります。総資産が56,620,831千円に対し総負債が4,395,932千円で、純資産は52,224,899千円になります。負債率は7.8%で私学の平均は12.0%（『今日の私学財政』2022年度版日本私立学校振興・共済事業団より）でありますので、財産状況は良好であります。

貸借対照表

2023年3月31日現在

(金額単位：千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	47,276,754	43,468,243	3,808,511
有形固定資産	27,402,409	24,483,836	2,918,573
土地	5,531,176	5,494,376	36,800
建物	18,845,944	15,631,176	3,214,768
構築物	1,626,072	1,259,316	366,756
教育研究用機器備品	1,116,550	757,963	358,587
管理用機器備品	71,013	57,644	13,369
図書	186,825	184,358	2,467
車両	24,829	21,113	3,716
建設仮勘定	0	1,077,890	△ 1,077,890
特定資産	4,650,000	4,650,000	0
第3号基本金引当特定資産	4,650,000	4,650,000	0
その他の固定資産	15,224,345	14,334,407	889,938
借地権	32,581	32,581	0
電話加入権	3,378	3,378	0
差入保証金	40,760	35,880	4,880
施設利用権	303	345	△ 42
有価証券	12,147,323	12,062,223	85,100
長期運用預金	3,000,000	2,200,000	800,000
流動資産	9,344,077	13,465,459	△ 4,121,382
現金・預金	3,905,053	7,235,117	△ 3,330,064
未収入金	91,500	264,576	△ 173,076
貯蔵品	5,877	5,650	227
有価証券	5,200,000	5,800,000	△ 600,000
販売用品	21,932	20,067	1,865
前渡金	118,714	137,570	△ 18,856
立替金	1,001	2,479	△ 1,478
資産の部合計	56,620,831	56,933,702	△ 312,871

(金額単位：千円)

負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	1,569,101	1,573,231	△ 4,130
退職給与引当金	1,307,037	1,315,607	△ 8,570
長期未払金	262,064	257,624	4,440
流動負債	2,826,831	2,883,209	△ 56,378
未 払 金	795,041	652,680	142,361
前 受 金	1,858,433	2,034,657	△ 176,224
預 り 金	173,357	195,872	△ 22,515
負債の部合計	4,395,932	4,456,440	△ 60,508
純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金	55,527,370	51,840,495	3,686,875
第 1 号 基 本 金	50,322,370	46,635,495	3,686,875
第 3 号 基 本 金	4,650,000	4,650,000	0
第 4 号 基 本 金	555,000	555,000	0
繰越収支差額	△ 3,302,471	636,767	△ 3,939,238
翌年度繰越収支差額	△ 3,302,471	636,767	△ 3,939,238
純資産の部合計	52,224,899	52,477,262	△ 252,363
負債及び純資産の部合計	56,620,831	56,933,702	△ 312,871

2. 2023 年度予算について

学校法人の予算書は、決算書と同様に所轄庁へ届け出ることになっております。

学校法人では収入の大半は、年度初めにほぼ見通しが立つという極めて固定的な特性があり、教育研究の要請から来る資金需要が無限にあるなか、教育研究の永続性と財政の健全性を維持していくためには、長期的な視野に立つ教育研究計画と、それを裏付ける収支の均衡のとれた財政計画が必要であり、これらの計画を適正にかつ効果的に達成するため、予算制度は重要な仕組みとして位置付けられています。

本学園の事業活動収入は8,191,785千円、前年度比270,004千円増で組んでいます。事業活動収入の76.1%を占める学生生徒等納付金は、今年度開校した中学校で定員を上回る新入生が入学した結果、学生生徒数が前年度より増加し6,233,169千円(学生生徒数約6,400名)前年度比7,004千円増を見込み、学生生徒等納付金の次に収入に占める比率の高い補助金が1,155,555千円と中学校開校分を見込み、付随事業収入が108,966千円とコンビニ、総合寮、スクールバス利用料等の収入を見込むほか、教育活動外収支の受取利息・配当金で327,695千円、特別収支のその他の特別収入の施設設備補助金で86,300千円と収入増を見込んだことが主な要因となっています。

一方、事業活動支出は8,490,619千円、前年度比618,700千円増を計上しています。これは人件費で中学校開校に伴う教職員数の増加を見込み、大学での教育DX化ネットワーク、国際交流経費、課外活動強化策、地域連携プロジェクト等や、中学校開校に伴う経費増を見込んだことが支出増加の主な要因となっています。

基本金組入額は、通常の研究用機器備品の購入、既存施設の改修等もありますが、大学の教育研究システムや教育DX化ネットワーク基盤整備工事を計画していることから、620,042千円を計上しています。

これらの結果、当年度収支差額は918,876千円の支出超過となりますが、これは一時的に経常支出が増加するためであり、経営状況が特に悪化することはありません。

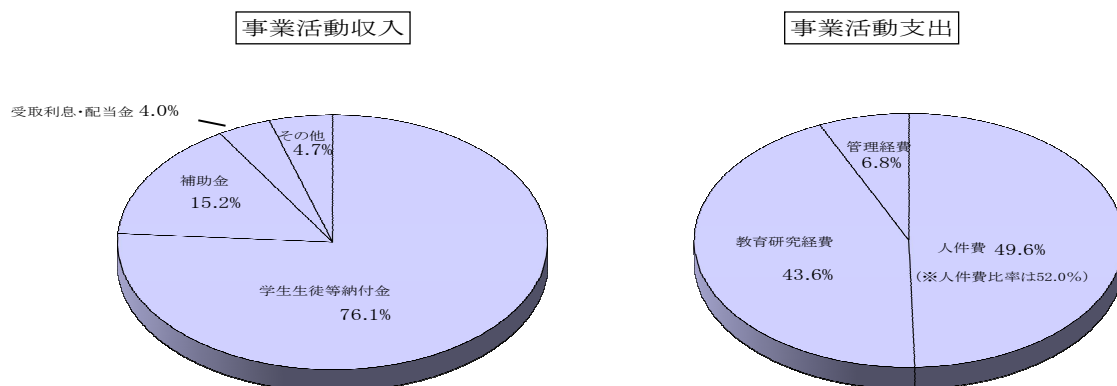
しかしながら、2023年度予算の執行にあたっては、効率的な運用に努め、経費等の節減に一層努める所存です。

2023年度事業活動収支予算書

(金額単位：千円)

		科 目	2023年度予算	2022年度予算	増減	
教育活動収入	事業活動の活動	学生生徒等納付金	6,233,169	6,226,165	7,004	
		手数料	143,994	149,445	△ 5,451	
		寄付金	26,020	28,100	△ 2,080	
		経常費等補助金	1,155,555	999,081	156,474	
		付随事業収入	108,966	181,865	△ 72,899	
	支活動の活動	雑収入	97,286	81,958	15,328	
		教育活動収入計	7,764,990	7,666,614	98,376	
		人件費	4,208,126	4,038,522	169,604	
		教育研究経費	3,705,035	3,246,772	458,263	
		管理経費	577,304	586,074	△ 8,770	
支	徴収不能額等	0	0	0		
	教育活動支出計	8,490,465	7,871,368	619,097		
		教育活動収支差額	△ 725,475	△ 204,754	△ 520,721	
教育活動外収入	事業活動の活動	受取利息・配当金	327,695	243,767	83,928	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	327,695	243,767	83,928	
	支活動の活動	借入金等利息	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	
		教育活動外収支差額	327,695	243,767	83,928	
		経常収支差額	△ 397,780	39,013	△ 436,793	
特別収入	事業活動の活動	資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	99,100	11,400	87,700	
		〔現物寄付〕	12,800	8,400	4,400	
		施設設備補助金	86,300	3,000	83,300	
			特別収入計	99,100	11,400	87,700
	支	事業活動の活動	資産処分差額	154	551	△ 397
その他の特別支出			0	0	0	
		特別支出計	154	551	△ 397	
		特別収支差額	98,946	10,849	88,097	
		基本金組入前当年度収支差額	△ 298,834	49,862	△ 348,696	
		基本金組入額合計	△ 620,042	△ 4,220,501	3,600,459	
		当年度収支差額	△ 918,876	△ 4,170,639	3,251,763	
		前年度繰越収支差額	△ 3,302,471	636,767	△ 3,939,238	
		翌年度繰越収支差額	△ 4,221,347	△ 3,533,872	△ 687,475	
(参考)						
		事業活動収入計	8,191,785	7,921,781	270,004	
		事業活動支出計	8,490,619	7,871,919	618,700	

構成比率 (2023予算)



2023年度資金収支予算書

(金額単位：千円)

	科 目	2023年度予算	2022年度予算	増 減
資 金 収 入 の 部	学生生徒等納付金収入	6,233,169	6,226,165	7,004
	手数料収入	143,994	149,445	△ 5,451
	寄付金収入	26,020	28,100	△ 2,080
	補助金収入	1,241,855	1,002,081	239,774
	資産売却収入	1,800,000	3,400,000	△ 1,600,000
	付随事業・収益事業収入	108,966	181,865	△ 72,899
	受取利息・配当金収入	327,695	243,767	83,928
	雑収入	97,286	81,958	15,328
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	2,227,163	2,327,027	△ 99,864
	その他の収入	194,200	367,576	△ 173,376
	資金収入調整勘定 前年度繰越支払資金	△ 2,012,476 3,905,053	△ 2,087,926 7,235,117	75,450 △ 3,330,064
	合 計	14,292,925	19,155,175	△ 4,862,250
資 金 支 出 の 部	人件費支出	4,198,773	4,037,558	161,215
	教育研究経費支出	2,467,908	2,160,177	307,731
	管理経費支出	498,346	516,549	△ 18,203
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	382,349	3,758,971	△ 3,376,622
	設備関係支出	917,837	688,756	229,081
	資産運用支出	1,800,000	3,400,000	△ 1,600,000
	その他の支出	945,240	804,110	141,130
	資金支出調整勘定 翌年度繰越支払資金	△ 834,506 3,916,978	△ 787,560 4,576,614	△ 46,946 △ 659,636
	合 計	14,292,925	19,155,175	△ 4,862,250

以上、2022年度決算及び2023年度予算につきまして、その概要を説明させていただきました。

学園の財政は目下のところ安定しているとはいえ、18才人口の減少等学園を取り巻く環境には厳しいものがあります。本学園としては、5学部9学科、5研究科の社会科学系の中規模大学として厚みのある教育研究体制の確立を意図し、高校では、教育内容の見直し、教育環境の充実をはかり、さらに、今年度開校した中学校とともに、中高一貫教育によって学生生徒6,400名が学ぶ学園として教育研究の充実、向上に一層努める所存であります。

ご父母の方々には、本学園の教育研究に深いご理解をいただき、また「教育振興資金」のご寄付等で多大なご協力をいただいておりますが、今後共、宜しくご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※計算書類等の詳細について閲覧を希望される方は、経理課窓口までお申し出ください。

< 計算書に表示される科目について >

学校法人会計基準に基づき作成する各計算書に表示される主な科目について説明いたします。

○資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通する科目

[学生生徒等納付金]入学金、授業料、施設設備費、実験実習料、課外活動振興費等の学費として納入されたものです。

[補助金]教育研究に関する経費や施設設備の拡充等の助成のために、国や地方公共団体等から交付される補助金です。

[付随事業・収益事業収入]コンビニや出版会の売上、受託事業収入等です。

[受取利息・配当金収入]預貯金や有価証券の利息・配当金収入等です。

[人件費]専任及び非常勤の教職員等に支給する本俸・期末手当・その他手当・所定福利費等です。

[教育研究経費]教育研究のための印刷費や図書費、委託費、消耗品費、光熱水費、旅費交通費等の経費です。

[管理経費]学校の管理業務や学生募集に係る経費等で、教育研究以外の経費です。

○資金収支計算書のみに表示される科目

[資産売却収入]有価証券、不動産等の固定資産の売却収入です。

[前受金収入]入学予定者や在学生の翌年度分の学生生徒等納付金が当年度に納入された収入です。

[その他の収入]前期末未収入金や前渡金、立替金の回収収入、その他預り金等の収入です。

[施設関係支出]土地、建物、構築物、建設仮勘定等の支出です。

[設備関係支出]教育研究用機器備品・管理用機器備品、図書、車両等の支出です。

[資産運用支出]有価証券の購入、引当特定資産への繰入等の支出です。

[その他の支出]前期末未払金や前渡金、立替金の支払支出、その他預り金等の支出です。

[資金調整勘定]資金収入調整勘定では、当年度の資金収入科目として計上したが資金受入が当年度でない前期末前受金と期末未収入金を減算し、一方資金支出調整勘定では、当年度の資金支出科目として計上したが資金支出が当年度でない期末未払金と、前期末前渡金を減算しています。これらの科目は支払資金の実際の収支と当年度の諸活動に対応する収支とを一致させるために用いられます。

○事業活動収支計算書にのみ表示される科目

[教育活動収支]経常的収支のうち、教育研究活動にかかる収入・支出を計上します。

[教育活動外収支]経常的収支のうち、教育研究活動以外の財務活動等にかかる収入・支出を計上します。

[特別収支]一時的に発生する資産売却差額、現物寄付、施設設備補助金、資産処分差額等の臨時的にかかる収入・支出を計上します。

[資産売却差額]有価証券や不動産を売却し、その売却収入が帳簿価額を超える場合にその差額を計上します。

[資産処分差額]有価証券や不動産を売却し、その売却収入が帳簿価額よりも少ない場合にその差額を計上します。

[事業活動収入]学校法人の主な収入(学生生徒等納付金、補助金、寄付金等)で、負債となる前受金、預り金等は含みません。

[事業活動支出] 事業活動支出は、人件費、教育研究経費、管理経費等の当該年度に発生した費用です。資金支出の他、退職給与引当金繰入額や減価償却額を計上します。

[基本金組入額]学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を持ち、永続的に維持することが必要不可欠であり、これを学校法人会計では基本金といいます。基本金は企業会計の資本金と混同されがちですが、学校法人には出資持分という概念はありません。当年度これらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組み入れる仕組みになっています。基本金の対象は学校法人会計基準において、次の4つに分類されています。

第1号基本金: 設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置もしくは学校の規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産を対象として組み入れた額。

第2号基本金: 第1号の資産を、将来取得するために充てた金銭その他の額として組み入れた額。

第3号基本金: 基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額として組み入れた額。

第4号基本金: 恒常的に保持すべき資金として規定され、一定の計算式で算出して組み入れた額。